

かさおか観光応援サポーター養成講座（基礎編）

第3回講座（平成31年1月10日開催）

場所：北木島



第3回目の講座は、いよいよ現地研修です。

現地研修の1回目は北木島に行きます。現地合流者を除く参加者10名で船に乗っていざ出港！

北木島は石材産業で栄えた島。今日は石にまつわる場所を巡り、知識を深め、ガイドの技術を身につけます。

金風呂港に着き、本日の講師、北木島公民館の山田館長の案内を聞きながら、まずは徒歩で、「光劇場」へ。ここは、昭和20年代後半から昭和40年代前半まで運営されていた、唯一残る映画館跡です。

北木島の石材産業の映像を見た後、地元保存会による石切唄を披露していただきました。

かつて北木島には4軒ほど映画館があったそうです。映写機や告知看板もそのまま残っています。

島の人々の生活、文化を思い描くことができたのではないのでしょうか。



次に訪れたのは、現役の石切場（「丁場」といいます。）。断崖にせり出した展望台が設置されていて、そこからの景色は圧巻です。展望台から100m近く真下にある石切りの現場を見ると、ゾクゾクと身体が震えるような体験ができます。

当時はこういった丁場が100以上もあったそうです。こちらの展望台を管理されている鶴田石材の関谷(せきたに)さんにお話を聞きながら、どのように石が切り出され、なぜこのような採石の仕方になるのかを学びました。



つづいて訪れたのは、「北木の桂林」と呼ばれる丁場湖。ここはかつての石切場で、稼働しなくなった後、雨水がたまってできたもので、切り立った岩と透き通った水が見事な景観を生み出しています。

丁場湖の入り口には、「ふいご部屋」と呼ばれる石切職人の工房跡もあり、ここでも昔の人々の生活が思い浮かべられます。

今回の現地研修の最後の場所である「K's LABO」。

ここは、北木島の石材産業の資料館となっていて、写真や展示品、資料映像などがたくさん保存されています。

今日現地で見てきた北木島の石の文化が、ここで一気につながったのではないのでしょうか。



養成講座の第3回目が終了しました。今回の講座で、実際に現地の観光スポットを肌で感じ、知識を深めることができました。また、山田館長の案内の仕方や歩くペースなどから、観光ガイドの技術を体感できたのではないのでしょうか。

現地研修2回を含めて、講座はあと3回となります。

次回（第4回）は、高島で現地研修を行います。神武天皇が東征した伝説を中心に島を巡ります！